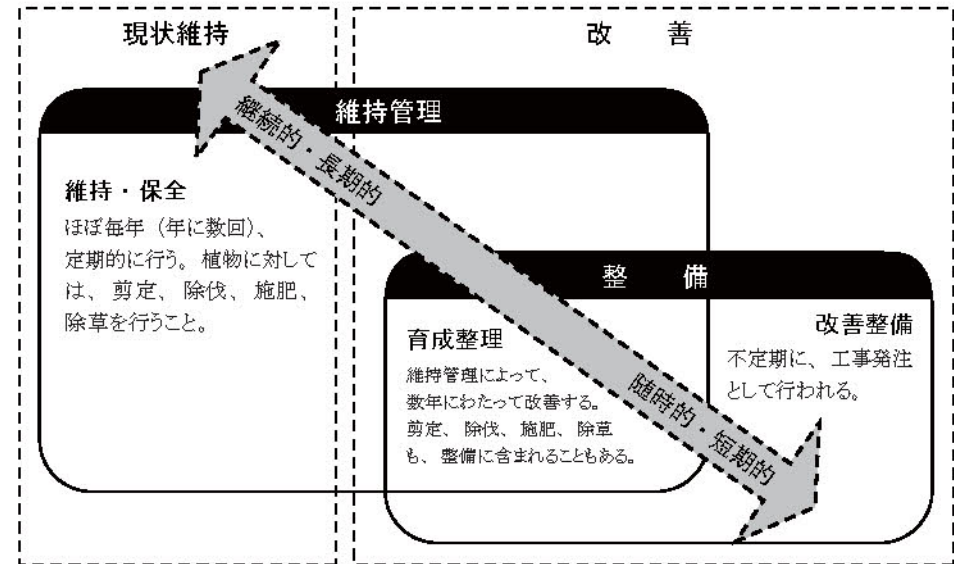


大阪大学 緑のフレームワークプラン ダイジェスト(1)

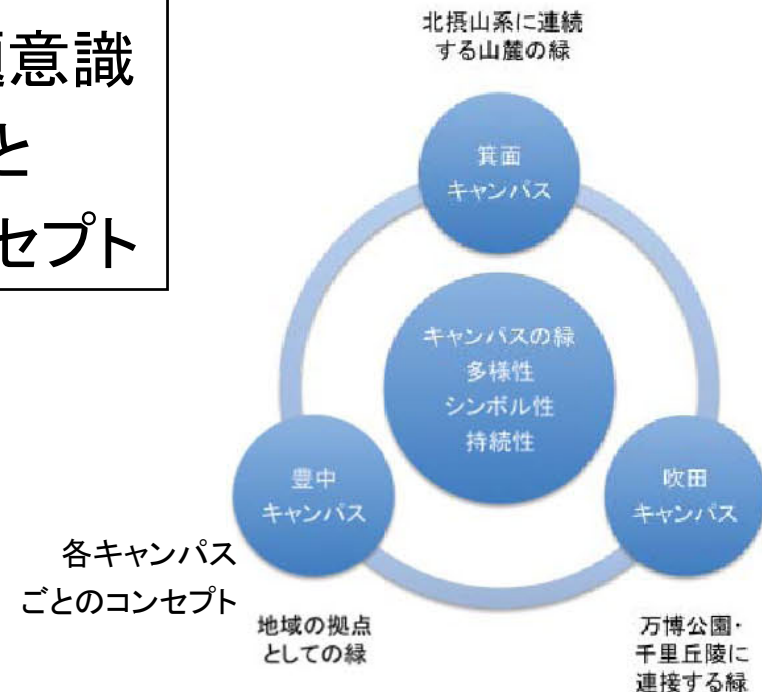
維持管理と整備の関係図

キャンパスマスタープランの下位指針として、緑地および、広場や街路等の緑の、整備と維持管理の方針をまとめたものです。これによりキャンパス全体の緑地を、より美しく快適に、一体的、統一的な考え方のもとに、かつ継続的に、整備・維持管理することをめざしています。



問題意識
と
コンセプト

- ・ 北摂地域全体におけるキャンパス緑地の位置づけと守るべき各キャンパスの良い点を明示しています。
- ・ 維持管理（剪定や除草）から整備（工事）まで通した視点を設定しています。
- ・ 生物の多様性や希少種についても配慮していきます。
- ・ 周辺自治体や地元、学生教職員との連携を進めます。



大阪大学 緑のフレームワークプラン ダイジェスト(2)



美しいイチョウ並木(豊中)



美しいが閉鎖的な緑地(豊中)



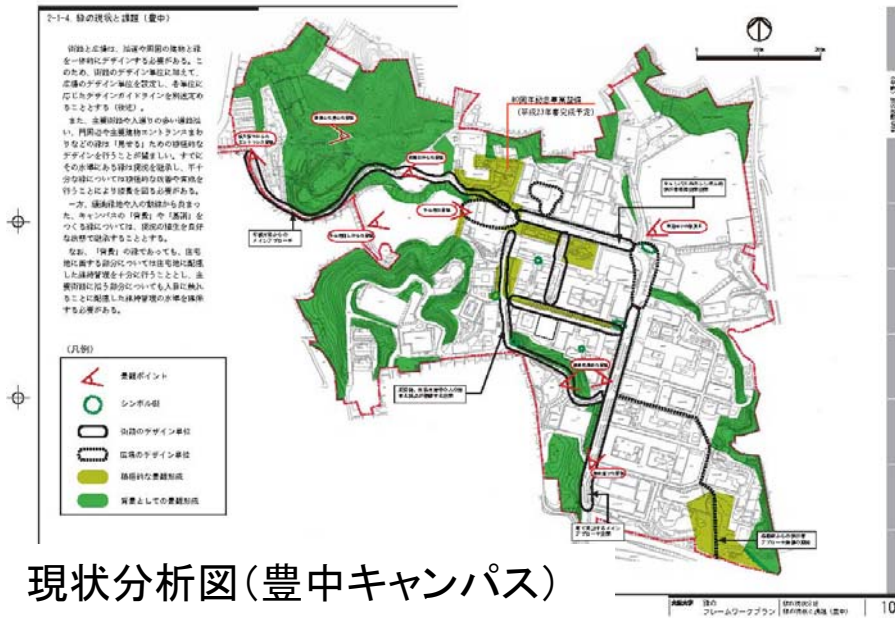
希少なイヌノフグリ(豊中)



並木と調和のとれた開放的な緑地(吹田)



美しいケヤキ並木(吹田)



現状分析図(豊中キャンパス)

中庭のシンボル樹(箕面)



現状分析の視点

キャンパスの緑の現状について、景観ポイント、シンボル樹、デザイン単位としての街路や広場、背景としての景観形成の各項目から整理しています。



北摂山系の雄大な景観とグラウンド(箕面)

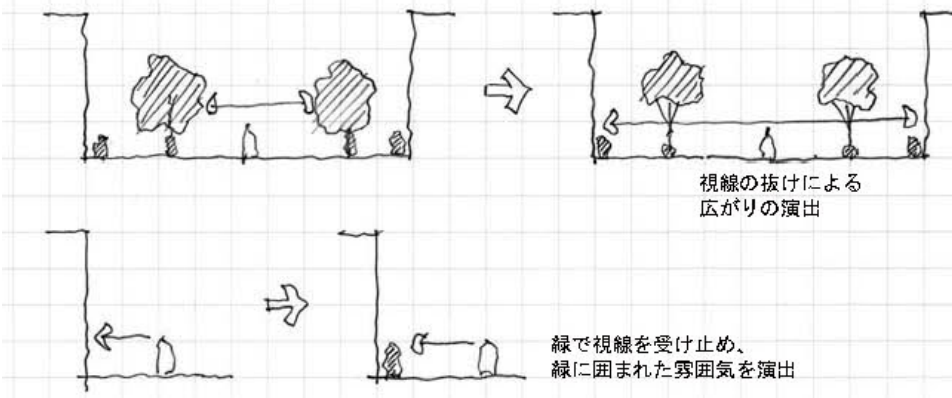
大阪大学 緑のフレームワークプラン ダイジェスト(3)

維持管理における剪定の種類と適切な管理頻度の種類

空間の使われ方と緑のあり方の例



緑で空間を演出する例



緑のデザインガイドライン

- ・ 整備（工事）と維持管理（除草や剪定）についてのデザインガイドラインを示しています。
- ・ 広場系／街路系／庭園系／樹林・境界系に分けた管理レベルを設定しています。
- ・ 里山や竹林等の具体的な管理手法を提示しています。

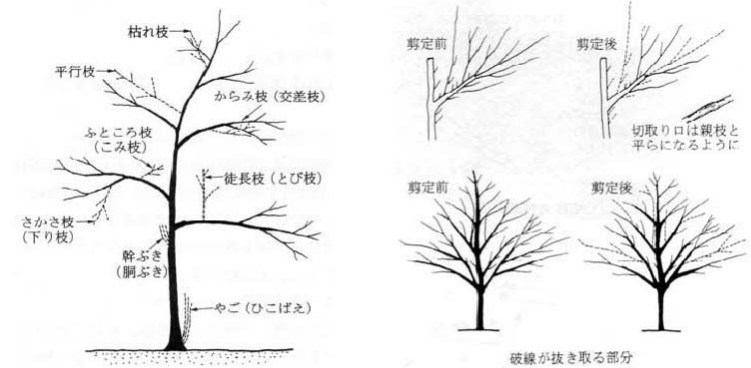


図3-3. 剪定が必要な枝

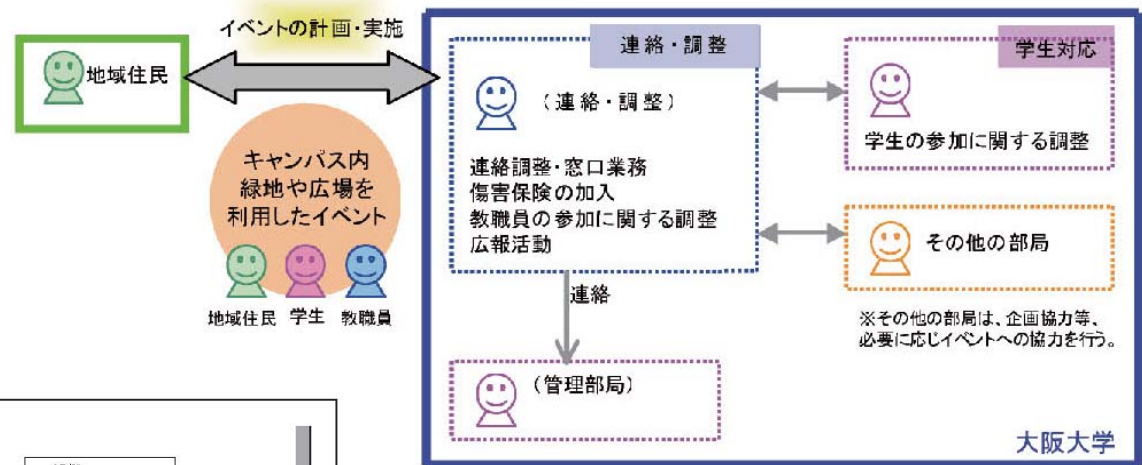
図3-4. 枝抜き剪定

表3-5. 緑地の植栽管理レベル（樹林・境界系）

管理レベル	管理方法	樹林	竹林	草地	備考
レベル3 人の利用が想定される保全系の緑地	剪定	2〜3年に1回	年1回	—	
	倒木処理	2〜3年に1回	年1回	—	
	下草刈り	年1回	年1回	年2回	
	ツル切り・清掃	年1回	年1回	年2回	
レベル2 人の利用する空間に隣接し、林床等の景観が重要となる緑地	剪定	4〜5年に1回	2〜3年に1回	—	
	倒木処理	4〜5年に1回	2〜3年に1回	—	
	下草刈り	年1回	年1回	年1回	
	ツル切り・清掃	2〜3年に1回	2〜3年に1回	年1回	
レベル1 キャンパスの背景等、遠景的な景観要素となる緑地	剪定	7〜10年に1回	4〜5年に1回	—	
	倒木処理	7〜10年に1回	4〜5年に1回	—	
	下草刈り	2〜3年に1回	2〜3年に1回	2年に1回	
	ツル切り・清掃	4〜5年に1回	4〜5年に1回	4〜5年に1回	
その他		※目視検査を年1回実施			

大阪大学 緑のフレームワークプラン ダイジェスト(4)

改善整備／育成整理／維持・保全の3段階でゾーンごとに分けた方針図を示し、できるだけ効率的に、日常の維持管理でキャンパスを徐々に美しくしていくことを目指しています。



イベントを仲立ちとしたキャンパス内利用と、地域住民や構成員との連携および維持管理活動のイメージ

<今後の課題>

- ・各部局による緑地等の維持管理方針を見直していきます。
- ・イベントや維持管理活動への参加および地域住民や構成員との連携によるキャンパスへの愛着の醸成を図っていきます。

